

# 村長の日記

---

3月1日（水）

## 朝

2名の辞令を交付した。

ロープウェイの指定管理者としてグルメ杵屋に運営をお願いした時、ロープウェイにいた現業職員は、役所で現業職員として村道管理、夏の草刈り等をお願いした。これから事務職として経験を活かし、村の発展に寄与していただきたい。

## 10:00

### 総務民政常任委員会

- ・ 千早赤阪村土砂等埋立投棄に関する条例  
面積3000平米、土砂量500立米以下の埋め立ては、土地所有者の同意、周辺住民への説明会が必要。  
罰則規定あり。2年以下の懲役または100万円以下の罰金。
- ・ 職員の勤務時間休暇に関する条例  
職員の育児休暇、介護休暇の規定
  - ・ 1つの要介護状況で、3回以下かつ合計6か月以下の範囲で介護休暇取得可能。
  - ・ 連続3年以下1日2時間以下で介護時間休暇を可能にする。
  - ・ 育児休暇の子どもの範囲  
法律上の親子関係に準じる子に拡大
- ・ 千早赤阪村国民健康保険条例  
保険料賦課限度額を国基準に改正  
医療分：52万円→54万円  
後期高齢者分17万円→19万円
- ・ 千早赤阪村平成28年度一般会計補正  
1億2430万円減額、歳入歳出総額31億7980万円

## 村長の日記

---

- ・ 28年度国民健康保険特別会計補正  
2930万円増額、歳入歳出総額10億8480万円
- ・ 28年度介護保険特別会計補正  
6720万円減額、歳入歳出総額6億8050万円
- ・ 28年度後期高齢者医療特別会計  
350万円増額、歳入歳出総額9860万円

全て本会議で議決することに決定。

3月2日（木）

**10:00**

### 文教建設常任委員会

- ・ 金剛山観光条例改正  
香南総従業員寮改装に伴い多目的室を設置  
利用料金、1時間2570円とする
- ・ 金剛山ロープウェイ条例の(利用料金)改正  
大人片道運賃 780円 → 750円  
往復乗車券 1450円 → 1420円
- ・ 上水道を大阪府水道企業団に移管するのに伴い、水道企業会計積立金の処分をする。  
積み立て金取り崩し 4780万円  
未処理欠損金振替処理 2170万円  
繰越利益剰余金振替処理 2610万円
- ・ 28年度下水道会計補正予算  
1550万円減額、歳入歳出総額 2億4360万円とする

## 村長の日記

---

### 委員会終了後町村長会来庁

3月17日の大阪府振興協会理事会の説明。

サマージャンボ宝くじ、オータムジャンボ宝くじ（ハロウィンジャンボと29年から改名）の売り上げが落ちている。両宝くじの収益金は全国市町村へ配分される。村も毎年収益金の配分を受けている。売り上げを多くして、少しでも多くの配分金を頂きたい。今年もロープウェイの切符売り場で宝くじを販売し、少しでも売り上げアップに協力する。住民の皆さんも億万長者になる機会は0ではない、億万長者を目指して宝くじを買おう。

3月3日（金）ひな祭り

**15:30**

### 公益財団法人 大阪府消防協会理事会

平成28年度補正予算

平成29年度事業計画、予算案を決定。

常務理事兼事務局長交代の議事があり、了解。

任期の会長人事があり、会長から2年間続投の意思表示があり、理事全員賛成で決定。

**16:30**

### 大阪府市町村消防財団 理事会

平成29年度事業計画、予算案、および加入団体の負担金額、市町村合計6580万円を了承。

本年財団に対し消防職員の障害事案給付申請があり、29年1月賞じゅつ金180万円を給付した。

3月4日（土）

観心寺において、楠木正成公の日本遺産申請の一環として、観心寺住職と旭堂小南陵さんによる、講演と講談の集い。

開演前に日本遺産の状況を聞き、河内長野市 島田市長、木本議長は日本遺産認証に向かって努力している。富田林市、河内長野市の教育長も参加して始まった。市長の挨拶、来賓代表で議長の挨拶、2人とも楠木正成さんに対する話でかなり学習しているのがわかる。講演会

## 村長の日記

---

に入り高島管長の話。正成はここ観心寺で10年間学問をおさめ、兵法については河内長野市の大江氏宅で学んだ。楠公の兵法は少人数で多数の敵を打やぶる戦法、いわゆるゲリラ戦。土地の状況、地形、天候すべての自然を利用し地域住民を味方につけ、敵に当たる兵法。河内の豪族である正成にとっては、5万人、10万人の兵を集めることは不可能。少人数で敵を悩ませる以外方法が無い。ベトナム戦争と時代は違うが同じゲリラ戦、「戦は民衆を味方につければ勝利」。楠公の教えは現在の世界にも通じるセオリーだ。

3月6日（月）

平成29年度予算、総務民政常任委員会所管分の予算審議

- ・ 人事財政課、総務課、住民課、健康福祉課所管の予算審議
- ・ H29年度、国民健康保険特別会計、事業会計、診療所会計
- ・ H29年度、一般会計予算総務民政常任委員会所管分
- ・ 村介護保険特別会計
- ・ 村後期高齢者医療特別会計

\* 本日の審議では やすらぎ会 から「村営診療所の指定管理を止めたい」申し出があり、4月1日より 地域医療振興協会 をお願いすることになった。9年間 やすらぎ会 の大沢先生、山本先生には村の医療を担っていただき、感謝する。

\* 村国民健康保険特別会計、11億2580万円の審議

2年前住民の皆さんからの要望で、国保の保険料を府下最低に引き下げた。しかし住民の高齢化と医療費の高額化により、2億円超であった基金が1500万円まで低下した。医療費見積もりの失敗と言わざるを得ない。平成30年度から始まる、大阪府による国民健康保険一元化の荒い試算では、村の保険料を50%以上上げざるを得ない。激変を避ける目的で、29年度より国保料を上げる事が必要。

3月7日（火）

**10:00**

文教建設常任委員会

教育課、施設整備課、観光産業振興課関連の29年度一般会計予算審議教育課の予算審議で、

## 村長の日記

---

本年幼稚園の入園者が3人、入園年齢の児童が17人いるうち3人が幼稚園志望、残りの児童は保育園に行くか他市町の施設に通うことになる。この傾向が続けば31年には幼稚園に通う児童は10人程度になる。最近の家庭は共働きが多い、したがって0歳児から預かってくれる保育園に子どもを預ける事が多い。

今国会で問題になっている待機児童は、村にはない。そのかわり、村で必要なのは老人の施設だ。子育て世代は交通インフラの不足で出て行く人が多い。村に多いのは待機高齢者だ。国は待機児童だけでなく、待機高齢者の対策をしてほしい。

一般会計の賛否で反対者が出て賛否同数、委員長決済で可決となった。

\* 下水道事業特別会計 2億4240万円

\* 金剛山観光事業特別会計 1億4700万円

上記2案を全員賛成で可決。最終日議会上程となった。

3月8日（水）

私の知人の中に「千早赤阪村頑張れ」と250万円ふるさと納税の高額納税者がいた。ご寄付いただいた時点で「村へのご協力ありがとうございます」と言うべきだったが「千早赤阪村へふるさと納税したよ」と言われるまでわからなかった。

他の市町村を見ると、非常にきめ細かくお礼をしている。頂いだけでそのままでは、ご寄付頂いた方に対し失礼にあたるし、年々税収が低下する村への力強いバックアップに対し、心からお礼をするべきだ。財政力指数が0.36（村の年間必要金額に対し、自力調達できる金額の比率）の村に、今年は2億円以上のふるさと納税を頂いた。4億9千万円の税収しか予算に組めない村にとって、まさに干天の慈雨、感謝しかない。

### 午後

平成30年度国保府下一元化に向けた試算にもある通り、50%以上の保険料上昇が見込まれる。千早赤阪村国民健康保険運営協議会より、急激に保険料をアップするより、保健県財政健全化を実現するため徐々に値上げすべき。との答申を頂いた。答申を厳粛に受け止め、実行する。

# 村長の日記

---

3月9日（木）

## 全員協議会

### \* 工事請負契約の報告

・ 村道西峰唐谷線他 3 路線舗装工事	小吹地内	2,770 万円	北口設備
・ 老朽管更新工事	千早地内	4,770 万円	矢倉土木建
・ 村道森屋比叡の前線舗装工事	水分森屋地内	1,120 万円	大浦水道工業
・ 人孔蓋取り換え工事	小吹	1,060 万円	菊水園
・ 千早浄水場更新工事	千早	1,910 万円	北口設備、
・ 老朽管更新工事	千早	2,530 万円	杉田造園
・ 老朽管更新工事	千早	2,940 万円	千福建設
・ 村道東阪水分線舗装工事	水分	1,620 万円、	北口設備

### \* 公共施設総合管理計画の説明

村には幼稚園、小学校、中学校、ロープウェイ、くすのきホール、資料館、B&G アリーナ、プール、いきいきサロン 他、施設をたくさん持っている。現在まで総合管理計画が無く、ランニングコスト野放し状態であった。全体を総合的に管理することにより、メンテナンス、建て替えを年次的に管理する必要がある。大至急計画立案を。

### \* 昨日答申を頂いた国民健康保険の説明

平成 29 年、30 年、31 年で分割値上げを行わざるを得ない状況を説明。

### \* 4 月 1 日付けで大阪府水道企業団に移管する上水道の、29 年度予算の説明を受け、全員協議会は終了。

3月10日（金）

## 第 8 回 庁舎建設特別委員会

新庁舎代替案は、住民説明会・アンケートを実施し、取りまとめた結果を庁内で協議し、新庁舎建設候補地は「現庁舎の位置で建て替え」を議会に提案した。

## 村長の日記

---

村議会では本案を審議いただき、村の最終案として決定頂きたい。  
特別委員会に提出したところ「新庁舎は現庁舎の位置で建て替え」で決定を頂いた。

3月10日付け、時事通信社の「官庁速報」第1面に、移動式期日前投票所開設の記事があり。  
千早赤阪村は平成29年度から、選挙期間中に投票箱を公用車に積んで役所から遠い地区に出向く、移動式期日前投票所を導入する。  
選挙に際しては役所に期日前投票所を開設しているが、高齢者からの「行くのは大変」に対応した。

3月11日（日）

**富田林高校10期生同窓会**（天王寺都ホテル）

帰りの都合もあり車で参加、本日アルコール無し。

400人いた同窓生の内65名は既に亡くなっている。参加者は60人。77歳の同窓会同窓生には、元大阪大学総長“ノーベル賞に1番近い男”と言われた岸本君がいる。元気に参加してくれた。

何年かに一度ではあるが、ぜひ次の機会にも参加できる状態でいたいものだ。

ドクターに“加齢”と言われることが多くなった。これからはいかにして体調を整え、元気を維持するかが大切だ。三浦雄一郎さんの様にセサミンを飲んで体力を増強させるのは無理だが、弱らないように現状を維持するのがベストだ。適度な運動と野菜を多く取り、ストレスのない生活が大事。若いときの様にオーバーワークでは逆に体に悪い。同窓会では喫煙者が少ない、これも時代の流れだ。同窓会へ出かけてくる元気がある皆さん万歳。

## 村長の日記

---

3月13日（月）

**10:00**

**瑞宝双光章を受賞された奥田先生宅へ伝達に**

先生は88歳。本来受賞は皇居で伝達されるのだが、高齢の為、私が伝達することになった。伝達と共に村からの些少のお祝いを持って、教育長と共に自宅へ訪問した。

奥さんに聞いた所、少し聴力が弱くなったが後は問題が無い。3月に88歳になったばかり、先生にお渡ししたところ、非常に喜んでいただいた。「こんな名誉のことは無い、長生きして良かった」

3月14日（火）

**千早赤阪村立中学校 卒業式**

今年の卒業生は27名、中学校の創立以来1番少ない。男子12名、女子15名、もちろん1クラス、残念ながら中学校の新記録。

まだバブルが収束していなかった平成7年、都市計画法を導入していなければ、少しは違う結果が出ていたかと思う。当時、都市計画法に反対していた議員は私1人だった。10人の議員のうち、9人は問題にもしていなかった。

昨年からは都市計画法の運用で市街化調整区域でも開発が可能となったが、大阪府全体の地番沈下と南河内の交通インフラ未整備の結果、オファーが来ない。多方面に当たったが、現状が田んぼの所へ開発をと言っても何も来ない。まして現状が山林では話にならない。上下水道、取り付け道路を整備し、安い価格を設定して初めてオファーが来る状態だ。しかも府下で整備された土地が沢山あるから、条件が揃ったところで誘致競争となる。村はこのままでは、間違いなく過疎から脱却できない。ダイナミックに動き出す時がきた。

3月15日（水）

**3月議会最終日**

議会開催前に、田中議員へ全国町村議長会会長より永年議員の表彰があった。

27年間にわたり、議員として村の為に貢献していただいた。長期にわたりありがとうございます。これからも経験を活かし、村を支えていきたい。



## 村長の日記

---

議案第 7 号から第 26 号までの総務民政常任委員会、文教建設委員会に付託承認いただいた案件を可決。

議案第 27 号 平成 29 年度一般会計予算から、議案第 32 号 金剛山観光事業特別会計特別会計までの予算案も、委員長報告通り可決。

### \* 請願第 1 号

小吹台入り口における自動車解体業者進出反対と、千早赤阪村の環境保全条例（仮称）の制定を求める請願を審議。

私たち行政は請願を真摯に受け止め、可能な限り住民目線で対応することを確認した。

環境条例は近隣市町との関係を密にして、住民に対する影響を軽減するとともに、住民の負担を軽減できるようにコンプライアンスの範囲で制定したい。

### 一般質問

#### \* 浅野議員

##### ・ 国保料の統一化について

2月17日（金）の毎日新聞（夕刊）によると、「大阪府は、国民健康保険料を府内で統一する方針を固めた。」との記事が出ていた。市町村ごとにばらつきがある保険料を統一し、住民負担を公平化するのが狙いであり、来年4月の導入を目指す、との事。新聞の記事によると、現在の国保料金と新制度での料金の格差は想定でいくらになるのか。

##### ・ 村道等の補修工事は早急に

昨年の3月議会で、「村道等、補修工事の優先順位は」との事で一般質問した。その解答は、「舗装の劣化状況の調査結果と路線の重要度を評価して決まる」との事であった。1年が経過し、村内を回ってみても、どの路線で工事が終わっているのかわからない。そこで下記の3点について伺う。

① 劣化状況の調査結果は、どうであったか。

② 補修工事の優先順位は決まっているのか。

③ 通学路や高齢者が多く利用し、夜間でも暗い危険な箇所の把握はできているのか。

一般質問終了後、浅野議員から今季をもって議員を引退する表明があった。3期12年、ありがとうございました。

## 村長の日記

---

### \* 徳丸議員

#### ・ 村内トイレの改修を

村内にはいくつかのトイレが設置され、村民はもとより来村者には利用されている。道の駅や いきいきサロンくすのき 前のトイレはすべて和式で、棚田に設置されているトイレは古くて、衛生上からも改修が必要ではないか。「来村者をおもてなしするためのトイレや看板の整備」を村長の所信表明では明らかにしており、新年度の出来るだけ早い時期に整備が必要ではないか。また、水分神社のトイレはきわめて不衛生で、参拝者が利用しにくい。来村者が気持ちよく参拝できるようにするためにも、神社側に改修・整備を申し入れるべきではないか。村に活気があるかどうかは、トイレや次に質問するバス停を見ればわかるのではないかと積極的な答弁を求める。

#### ・ バス停の整備を

村内には金剛バスの停留所が17カ所ほどあるが、屋根のある待合所は5カ所しかない。また椅子が置いてあるバス停は4カ所しかない。屋根があっても破れているところもある。利用者が少ないとはいえ、あまりにもみすぼらしいのではないかと。今後高齢化が進み、バスの利用がますます重要になる。バス停の整備はバスの利用者はもちろん、来村者に対してもサービス向上になる。せめて利用者の多いバス停には長椅子等を設置し、安心して待ち合わせが出来るようにすべきではないか。バス停の整備は、村単独では無理があり、金剛バスの協力も当然必要だ。金剛バスへの協力の依頼と村の積極的な対応を求める。

質問終了後、議員の引退表明があった。11期44年長期にわたり村議会議員を務めていただいた。村議会の生き字引のような議員だった。

### \* 山形議員

#### ・ 「空き家情報バンク制度」について

先日、私のところに空き家を活用したいとの要望の声寄せられた。そこで

② 何かいい物件はないものかと考え「空き家バンク」の問い合わせをしたところ、利活用が可能な空き家の登録は無いとのことであった。

②空き家バンク制度の現状、そして普段から、私の住む吹台をはじめ、村内でも多くの空き家を目にするのに登録物件がなかなか増えない。理由について見解をうかがう。

## 村長の日記

---

### \* 清井議員

- ・ 「赤小にも学童保育を」と、幼稚園の在り方について

新年度の予算説明書によると、幼稚園3歳児は17名中3名となっている。この理由は、働くお母さん方が夏休みのない保育園に子どもを預けられる割合が増えたため。とのことである。同様の理由で、赤小のPTAの中でも学童保育の早期実現を望む声により大きくなってきている。年間出生数が少ない中、今後も保育所への入所希望が増えれば、幼稚園の在り方について検討する時期に来ていると思う。子育て支援として、全国的に認定こども園の設置が進められているが、本村でもこれについて検討されてはどうか。併せて、学童保育についても真剣に検討して頂きたい。

- ・ 市街化調整区域の利活用への取り組みと今後の見通しは

昨年6月に開催された村都計審で、第3次都市マス改正案が承認された。この改正点は、「地区計画、開発許可制度などを柔軟に活用し、集落機能を維持しつつ地域が活性化する取り組みを可能とするもの」である。併せて「調整区域における地区計画のガイドライン（案）の説明を受けた。これにより、調整区域の利活用への第一歩が踏み出された。そして、本年1月に大阪府（住宅街づくり部建築指導室建築企画課）から、「既存集落等の機能やコミュニティの維持への対応を目的とする開発等の取扱い（案）」のP.Cが実施されたがその結果がどうであったのか。そして今後、提案基準の整備・大阪府の協議等が行われるが、調整区域利活用への今後の見通しはどうか。

- ・ 新庁舎建設の財源計画について

本年1月に建設計画の見直しに伴い、代替案が示された。計画見直しの主な理由は、くすのきホール解体に対する住民の声と、事業費が当初の見込みを大幅に上回ったためである。本議会は1月の臨時議会で、代替案②「現庁舎建て替え案」で進められるよう決議した。この場合の事業費は大よそ10億9000万とされている。但し、仮庁舎とする「くすのきホール」改修費は事業費に計上されていない。この点については検討委員会でも指摘された。「くすのきホール」改修費はいくらと見込み、その財源はどうするつもりなのか。

### \* 関口議員

- ・ 学校給食費の無償化で人口増を

全国的な少子高齢化・人口減少の中で国の「まち・ひと・しごと創生事業」に基づき、各自治体が人口減少対策に取り組んでいる。

## 村長の日記

---

その中で子育て支援として学校給食費の無償化に取り組む自治体は H29.4 で 62 自治体にのぼり、その成果があらわれている。村でも「学校給食費の無償化」を実施し子育て世代の定住で人口増を図るべきだ。

- ・ 小吹台入り口の自動車解体業者進出について  
小吹台入口の自動車解体業者進出工事に端を発し、村周辺の環境保護施策が急務となっている。今、議会には「業者進出反対と村環境保全条例の制定を定める請願」が 2,705 名の署名を添えて提出された。村の住環境を守るために住民の立場に立ち村としてあらゆる努力をすることを求める。
- ・ 高齢者福祉の充実を  
高齢化の中、村では介護予防や要介護者の生活支援に努力されている。軽度の要介護者がデイサービスに行けない日は、長い一日の終わりを家の中で待つしかない生活だ。地域のボランティアや社協の協力で地区の集会所などでの出張デイサービス（おしゃべり会、お茶飲み会）ができないのか。提案する。

### \* 田中議員

- ・ 千早赤阪村国民健康保険診療の運営について  
村の診療所は、平成 19 年 10 月から指定管理者制度が導入され「医療法人やすらぎ会の小吹台診療所」により運営を行ってきたが、本年 4 月 1 日からは新しい指定管理者のもとで運営をされると聞いている。どのように村の診療所は替わるのか、以下の点について伺う。
  - ① 診療所の職員は何人体制か。
  - ② 診療科目はどうなるのか。
  - ③ 診療時間はどうなるのか。
  - ④ 赴任される先生は。
  - ⑤ 今後の取り組みについて
  - ⑥ 住民の方への周知について 以上の点について伺う。
- ・ 村立学校園の非構造部材の耐震について  
本村の学校園の建物の耐震については、数年前に耐震化工事は完了しているために、一定の安心できる教育環境が得られていると

## 村長の日記

---

考えているが、それとは別に地震時には、天井や照明器具、書棚、体育館内の備品等のいわゆる非構造部材の耐震化という事も、今後考えていかなければならないと思っている。村の教育委員会として、このような整備計画についてはどのように考えておられるのか伺う。

一般質問は以上で終わり。

### 3月議会の挨拶

平成29年の一般会計、特別会計は皆さんの協力ですべて成立させていただきましたありがとうございました。

懸案でありました庁舎建設用地も紆余曲折がありましたが、現庁舎位置で建て替えとなりました。新年度より早期建設に向かって走り出します。少子高齢化の今、住民皆さんの利便性とニーズに対応した出来るだけコンパクトで風通しのいい役所を作ります。財政面では議員の皆さん、住の皆さんの協力により、やっと世間並みの運営が出来るようになりましたが、財政力指数は0.3（村の年間必要財政の30%しか自己財源がありません）が現状です。予算でも税収を5億円弱しか組めず、道路インフラが弱い、山地と棚田が売りの村で過疎から脱却を目指すには、全く新しい手法しかありません。

私たち行政は人口1000人増、税収3億アップの道を模索しております。来月には村会議員の選挙があります。本日立候補を辞退する先生方の挨拶がありましたが、皆さんのご協力によりダイナミックな村造りを推進します。ぜひ皆さんの協力をお願いします。

### 議会終了後

井上議長が議長席から議員席に移り、

3期12年にわたる議員生活で、職員にはいろいろお世話になった。これからも村の運営に注文を付けるとともに、良い村づくりには積極的に関与していく。との挨拶があった。